

2024 年度

事業報告書

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

一般財団法人 日本ファッション協会

目 次

I. 総括的概要	1
II. 事業実施概況	
1. 情報発信事業	3
(1) 「style-arena.jp(スタイルアリーナ)」事業の推進	
(2) アジアファッション連合会(AFF)事業	
(3) シネマ夢倶楽部	
(4) 働く女性の“今”から豊かな生活文化を考える「Urara:kai」(うらら会)	
2. 顕彰事業	8
(1) 日本クリエイション大賞 2024	
(2) 第 22 回シネマ夢倶楽部表彰	
3. 地域振興事業.....	11
(1) 生活文化創造都市推進事業(地域会議)	
(2) まち自慢.net(ドットネット)	
4. その他事業.....	13
(1) 動画・Web 等請負事業	
(2) 各種イベント・行事等への後援	
(3) 委員派遣	
III. 会議開催状況	
1. 理事会.....	15
2. 評議員会.....	15
IV. 組 織	
1. 組織図.....	17
2. 役員(理事・監事)・評議員・名誉理事長・顧問・参与・相談役.....	18

I . 総 括 的 概 要

2024 年度、当協会は設立の趣旨である「『衣食住』の枠を超えた豊かな生活文化の創造・発展」に向けて、時宜に応じたファッション情報等を発信する「情報発信事業」、日本クリエイション大賞、シネマ夢倶楽部表彰の「顕彰事業」、生活文化創造都市構想を後押しする「地域振興事業」を中心に、賛助会員企業・団体の社会貢献活動やニーズに寄与すべく事業を展開した。主な活動内容は以下のとおりである。

1. 情報発信事業

ファッション情報等を国内外に発信するという観点から 4 つの事業に取り組んだ。

- (1) 東京のストリートファッションを紹介する情報発信サイト「style-arena.jp (スタイルアリーナ)」事業は、服飾ファッション情報のみならずヘア&メイク、グルメなどライフスタイル全般に注目し、様々な記事を掲載し幅広い層に向けた情報発信に努めた。
さらに今年度は、SNS による情報発信力の強化やスナップモデルから選出した人材コミュニティを活用した企業・団体等のプロモーション支援に取り組んだ。
- (2) アジアファッション連合会(AFF)日本委員会は、アジアのファッション・ビジネス相互の活性化とわが国のファッション事情等の情報発信を行っている。今年度は、訪日視察団の受け入れ、海外でのテキスタイル展示会への参加者募集の協力を行った。
- (3) シネマ夢倶楽部事業は、毎月、新聞紙面「シネマ 21PLUS (プラス)」(東京新聞)ならびに「会議所ニュース」(日本商工会議所)において推薦映画の情報発信を行った。
その他、他団体との連携事業(運営協力)として、推薦映画の情報発信などイベント等に対して運営の協力を行った。
- (4) 働く女性の“今”から豊かな生活文化を考える「Urara:kai(うらら会)」は、ビジネス・ミーティング(セミナー)、会員交流会等を開催した。

2. 顕彰事業

「日本クリエイション大賞 2024」ならびに「第 22 回シネマ夢倶楽部表彰」の選考を実施し、表彰式を3月 21 日(金)に 181 名の参加者を得て開催した。

- (1) 今年度の日本クリエイション大賞は、108 件の候補案件の中から、避難所でプライバシーを守り寒さを防ぐ空間「インスタントハウス」を考案した北川 啓介氏(名古屋工業大学大学院教授)と北川 珠美氏(名古屋工業大学研究員)が受賞した。暑さ、寒さに強く、中に入ると心が安らぐ「インスタントハウス」は、国内だけでなく世界中の被災地や紛争地、難民キャンプで住まいに困る人々に“希望”を届けている。
- (2) シネマ夢倶楽部表彰は 22 回目を迎え、「ベストシネマ賞」に『ソウルの春』ほか2作品を、「シネマ夢倶楽部賞」は質の高い字幕制作を手掛ける『株式会社 アウラ』を、「推薦委員特別賞」では『侍タイムスリッパ』監督・脚本の安田 淳一氏、同作主演の山口 馬木也氏、『つゆのあとさき』主演の高橋 ユキノ氏を選定した。

3. 地域振興事業

生活文化創造都市構想を後押しする観点から以下の事業に取り組んだ。

- (1) 「生活文化創造都市フォーラム『八戸地域会議』」を 2025 年1月 23 日(木)に、八戸市で開催した。
- (2) 「生活文化各地域の観光情報などを発信する Web サイト「まち自慢.net(ドットネット)」では、今年度 1 年間に、47 件の各種情報を発信した。

4. その他事業

(1) 動画・Web 等請負事業

style-arena.jp 事業で培ったノウハウを活かし、賛助会員企業・団体等からのニーズに対応する動画制作、Web 制作等の請負事業を実施している。また、コロナ禍によって生じたオンラインセミナー等のニーズの継続に対応して、ハイブリッドセミナー・イベントの支援を行った。

(2) 各種イベント・行事等への後援

生活文化関係の各種イベント・行事等への後援を実施した。

(3) 委員派遣

他団体の事業に対し、審査員等の派遣を行った。

5. 会議開催状況

当協会の運営をつかさどる理事会を3回、評議員会を2回開催し、円滑な運営に努めた。

第27回評議員会では、一般財団法人移行時(2012年)と現状との基本財産規模に鑑み定款に定める理事の人数を「20名以上 30名以内」から「15名以上 25名以内」に、評議員の人数を「25名以上 40名以内」から「20名以上 35名以内」にそれぞれ変更した。

Ⅱ．事業実施概況

1. 情報発信事業

(1) 「style-arena.jp (スタイルアリーナ)」事業の推進

「style-arena.jp (スタイルアリーナ)」事業は以下のコンテンツから構成されており、内外に向けて情報発信を行っている。

① TOKYO STREET STYLE (トウキョウストリートスタイル)

東京で注目の5地点(原宿、渋谷、代官山、表参道、銀座)のストリートファッションを、2002年から定点観測し、最新のストリートファッションをWeb および SNS を通じて発信している。この5地点以外にも随時、話題の地域のストリートファッション情報の発信も行っており、今年度は、下北沢、新大久保、新宿、中目黒などの情報も発信した。なお、Web 版の style-arena.jp では、年齢・性別・アイテム・ブランドのほか、当日の気温や天気でも絞り込みができる「SNAP SEARCH」機能も搭載している。

また、インスタグラムなどの SNS は写真情報に比べて情報量が多く、若者世代に好まれている。こうした背景からインスタグラムなど SNS による情報発信も本格的に行っている。インタビュー形式のショート動画など「動きのある」情報を発信することにより、閲覧数も増加傾向にある。とりわけ、文化服装学院の入学式の動画は、インスタグラム版の style-arena.jp で1千万回を超える再生数を記録している。

なお、インスタグラム版の style-arena.jp のフォロワー数は3万7千人に上っている。



このような取り組みにより、各メディアとの連携も進み、トレンド情報や画像の提供につながっている。

提供先	内 容
ソウル大学ファッション経営者コース	ストリートファッショントレンドセミナー
日本フローラルマーケティング協会	ファッショントレンドから読み解く花のトレンドへの派生
博報堂プロダクツ	トレンド分析と画像提供
日本繊維情報(ダイセン)	新聞記事および広告
季刊「流行色」	画像提供および広告掲載
共同通信イメージズ	スナップ画像販売
日本文教出版 令和7年度版中学校「美術1」	スナップ画像掲載(写真次ページ)



② TREND NEWS

Web 版 style-arena.jp では、服飾に限らず、ヘア&メイク、グルメなど生活文化全般のトレンドを紹介するとともに、イベント来場者スナップや市場調査の分析など特集記事も掲載している。

今年度は、東京クリエイティブサロン、渋谷ファッションウィーク (写真右上) などのファッション関連イベントや当協会が企画運営の支援をした「ファッションキュレーターと巡るふくしまシルクロードの旅」(写真右下) の情報を発信した。

このほか、SNS フォロワーのコミュニティ活動として、「TOKYO FASHION CROSSING」(主催・東京都等)や「次世代クリエイター育成プロジェクト発表会」(主催・東京ニットファッション工業組合)に、style-arena.jp のコミュニティメンバーを派遣し、当該イベントの情報を発信した。



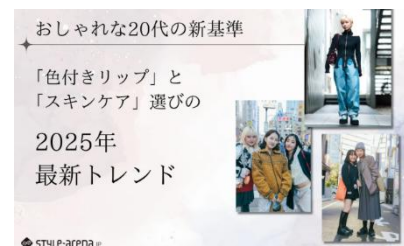
③ NEW TRIBE

日本特有のファッションスタイルをテーマごとに Web 版 style-arena.jp に掲載。また、今後のファッション界を担うファッション科の学生や、街で流行しているファッションアイテム、おしゃれな若年層たちが集まるスポット自体にも注目し、分析しながら写真と共に解説している。

今年度は、「ソフト地雷系」「おしゃれヘッドフォンコーデ」「ブロケットコア」などの情報を発信した。

【プロモーションプランの提供と自主アンケートの実施】

style-arena.jp 事業で培ったノウハウ、コミュニティメンバーのネットワークを活かして、style-arena.jp 事業を収益に結び付けることを目指し、「Z 世代への街頭アンケート・サンプリング配布を含むプロモーションプランの提供」についてのプレスリリースを 2025 年2月に実施した。また、これに関連して、「色付きリップとスキンケア」に関する街頭アンケート調査を 2025 年2月に (写真右)、「ヘアオイル」に関する街頭アンケート調査を3月に実施した。



※メディア掲載件数 PR TIMES を通じて発表しており、@DIME(アットダイム)、東洋経済オンライン、LAURIER PRESS(ローリエプレス)、美 ST ONLINE(美スト)、BEST TIMES(ベストタイムズ)など、延べ 105 のサイトに掲載された。

(2) アジアファッション連合会(AFF)事業

アジアファッション連合会(AFF)は、豊かな生活文化の創造と、アジアファッションを世界に発信することを目的に 2003 年 12 月に日本、中国、韓国の連合会として発足。その後、シンガポール、タイ、ベトナムが加盟し、広域連携による活動を展開してきた。なお、今年度は代表委員会「AFF Networking」の開催年ではないため、同会議の開催はない。

今年度は、ソウル大学「最高経営者コース」訪日視察団の受け入れ(6月と7月)のほか、テキスタイル展示会(プレビュー・イン・ソウル(8月)、プレビュー・イン・テグ(3月))への参加者募集の協力を行った。

(3) シネマ夢倶楽部

当倶楽部は日本ファッション協会の情報発信事業の一つとして、多くの人に良質な映画を見て感動してほしい、夢や希望をもって心豊かに暮らしてもらいたいと考え活動している。上映される数多くの映画の中から、どの映画を見るべきか、感動する映画はどれか、といった視点で選考を行うことが特徴である。メディアから流される映像や広告表現、記事などに惑わされることなく純粋に映画を楽しみ、愛好し鑑賞する立場から、良質な映画を選び推薦している。主な事業は以下のとおり。

① 映画情報の発信

1) 「シネマ 21PLUS(プラス)」の掲載

推薦映画作品を以下の推薦委員のコメントとともに東京新聞(5段)で毎月1回掲載している。従前は夕刊に掲載していたが、同新聞の夕刊発行エリアが東京23区内のみとなったことにともない、9月からは掲載を朝刊(関東圏および静岡県のみ)に変更した。

また、2024 年ベストシネマ賞などの発表を表彰式当日(2025 年3月 21 日)の東京新聞紙面(朝刊 TV 面3段、夕刊ラテ面 10 段)にて行った。

2) 新聞、雑誌への掲載

日本商工会議所が発行する「会議所ニュース」にておいて推薦映画を紹介した(2009 年度から毎月1回、夏休み・年末年始特集記事を含む)。

【推薦委員(敬称略・順不同・2025 年3月 31 日現在/16 名)】

推薦委員長	渡辺 俊雄 (元 NHK 衛星映画劇場 支配人)
顧問・推薦委員	馬場 彰 (元株式会社 オンワードホールディングス 名誉顧問)
推薦委員	浅香光 健 (演劇舞踊浅香流 名取)
	安藤 紘平 (映画監督、早稲田大学 名誉教授)
	掛尾 良夫 (田辺・弁慶映画祭ディレクター)
	樫山 文枝 (女優)
	三遊亭 小圓楽 (落語家)
	高木 直 (ワインエキスパート)
	高見 恭子 (タレント/文筆家)
	伊達 彰夫 (リテールビジネス研究所 顧問)
	田中 千世子 (映画評論家)
	坪田 秀治 (日本商工会議所 参与)

鳥越 孝治（元株式会社 ダイドーリミテッド 社長）
 西山 昭彦（立命館大学 教授、博士（経営学））
 宮川 直美（医師）
 渡辺 祥子（映画評論家）

② 上映会の開催（運営協力）

2011 年 7 月から運営協力している東京新聞主催の「特別映画試写会」に対して、以下のとおり協力した。

日時・会場	映画作品・配給会社	来場者数	備 考
7月17日（水） 神楽座 （収容 116 名）	『お隣さんはヒトラー？』 （配給：STAR CHANNEL MOVIES）	約 90 名	協力
5月8日（水） 神楽座 （収容 116 名）	『バティモン 5 望まれざる者』 （配給：STAR CHANNEL MOVIES）	約 88 名	協力
4月26日（金） 神楽座 （収容 116 名）	『劇場版「鬼平犯科帳 血闘」』 （配給：松竹）	約 92 名	協力

③ 他団体との連携事業（運営協力）

一般社団法人日本メンズファッション協会主催事業のなかで、シネマ夢倶楽部推薦の映画予告上映や、告知ポスターの掲示、新聞紙面での特集記事掲載など情報発信につとめるとともに、運営に協力した。

日時・会場	映画作品（実施内容）	備 考
6月4日（火） 東京會館	『ONE LIFE 奇跡が繋いだ 6000 の命』、『オールド・フォックス 11 歳の選択』、『アニマル ぼくたちと動物のこと』の3作品（映画予告上映、ポスター掲示、劇場チラシの配布、新聞紙面記事紹介）	左記3作品は「イエローリボン ベストファーザー賞」推奨作品

また、11 月 9 日（土）から 17 日（日）に開催された、「第 19 回 那須国際短編映画祭-NASU SHORT FILM FESTIVAL 2024」初日に行われた、奥田 瑛二監督・出演の短編映画作品の上映、および上映後の奥田 瑛二氏トークイベントの運営に協力したほか、シネマ夢倶楽部推薦委員（安藤 紘平氏、渡辺 俊雄氏）2 名を映画祭審査員として派遣した。

（４）働く女性の“今”から豊かな生活文化を考える「Urara:kai(うらら会)」

「Urara:kai(うらら会)」は、「新しい時代に相応しい豊かな生活文化、ライフスタイルのあり方について女性の視点から考察、提唱すること」を目的に、ビジネス・ミーティング（セミナー）、企業訪問などの事業を実施した。

① 会議

1) 総会

日 時：4 月 22 日（月）18:30～19:30

場 所：日本ファッション協会 会議室

議 件：2023 年度 事業報告(案)ならびに収支決算(案)

2024 年度 事業計画(案)ならびに収支予算(案)

2) 実行委員会 9回

4月22日(月)、6月20日(木)、7月22日(月)、8月19日(月)、
9月30日(月)、11月22日(金)、12月23日(月)、2025年1月29
日(水)、2月20日(木)

② ビジネス・ミーティング

1) 演 題：「今 求められる経営～三方良しで勝つ仕組み作り～」

講 師：岩田 彰一郎氏 氏

株式会社 フォース・マーケティングアンドマネージメント 代表取締役 CEO

日 時： 7月9日(火) 18:30～20:00

場 所：AP 虎ノ門

参加者：15名

2) 演 題：「スパイはすぐそばにいる... ～スパイ天国のケーススタディ～」

講 師：山田 敏弘氏 ジャーナリスト

日 時：10月22日(火) 18:30～20:00

場 所：AP 虎ノ門

参加者：25名

3) 演 題：「世界の環境問題、日本の現実～今、私たちが向き合うべきこと～」

講 師：長島 美紀氏

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン アドボカシーグループリーダー

日 時：2025年2月28日(金) 18:30～20:00

場 所：AP 虎ノ門

参加者：13名

③ 企業訪問

見学先：ANA グループ総合トレーニングセンター「ANA Blue Base」

日 時：6月17日(月) 14:30～15:45

参加者：15名

④ 会員交流会

1) 夏の交流会

日 時：8月19日(月) 18:30～

場 所：学士会館「ビアホール」

参加者：9名

2) 冬の交流会

日 時：2025年1月24日(金) 19:00～

場 所：銀座「うらら」

参加者：7名

2. 顕彰事業

2025 年3月 21 日(金)、帝国ホテル東京・本館3階「富士の間」において、「日本クリエイション大賞 2024」ならびに「第 22 回シネマ夢倶楽部表彰」の表彰式を合同で開催した。表彰式には、受賞者とその関係者他、理事・監事・評議員、賛助会員、プレス含め 181 名が参加。表彰式後は着席形式にて祝宴を実施した。



(1) 日本クリエイション大賞 2024

今年度で 21 回目(東京クリエイション大賞からの通算では 38 回目)を迎えた日本クリエイション大賞は、製品、技術、芸術・文化活動、地域振興、環境、福祉など、ジャンルを問わず、未来に向けてクリエイティブな視点で生活文化の向上に貢献し、時代を切り拓いた人物やプロジェクトなどを対象としている。

【選考経過】

今年度は、事務局による推薦も含めた 108 件の候補案件を運営委員が 40 案件に絞り込み、顕彰制度委員会(選考委員会)にて、3回にわたり審議した。最終となる第3回選考委員会では、入賞案件選定のための投票および大賞を決める投票を行い、大賞1件のほか以下の3件を選定した。

「大 賞」



『被災地から世界へ広がる“希望”のインスタントハウス』

北川 啓介氏(名古屋工業大学大学院教授)

北川 珠美氏(名古屋工業大学研究員)

「海風の匠賞」

『洋上の輝きを支える最強の国産セール』

株式会社ノースセール・ジャパン(神奈川県横浜市)

「水素社会創造賞」

『富山発、廃アルミが生み出す未来の環境』

アルハイテック株式会社(富山県高岡市)

「衣料から医療へ賞」

『ニットの技術で守り続ける幼い命』

福井経編興業株式会社(福井市)

【顕彰制度委員会(選考委員会)の開催状況】

	開催日	会 場
第1回	10 月8日(火)	日本商工会議所会議室 AB

第2回	11月11日(月)	レベルXXI 東京會館
第3回	12月10日(火)	日本商工会議所会議室 AB

【顕彰制度委員会(選考委員会)委員(敬称略・五十音順・2025年3月31日現在/14名)】

選考委員長	日覺 昭廣	一般財団法人 日本ファッション協会 理事長
選考委員長代行	岩田 彰一郎	株式会社フォース・マーケティング アンド マネージメント 代表取締役 CEO
選考委員	伊東 順二	アートプロデューサー/ 学校法人 福岡建設専門学校 理事長
	今井 環	公益財団法人 NHK 交響楽団 元理事長
	内館 牧子	脚本家
	大田 佳宏	Arithmer 株式会社 代表取締役社長兼 CEO
	大宅 映子	評論家/公益財団法人 大宅壮一文庫 理事長
	加藤 タキ	コーディネーター
	河原 敏文	プロデューサー/ディレクター/CG アーティスト
	永井 多恵子	公益社団法人 ユネスコ国際演劇協会 会長
	原 由美子	ファッションディレクター
	福井 次矢	京都大学名誉教授/医学博士
運営委員	高尾 真紀子	法政大学大学院 教授
	山下 健	一般財団法人 日本ファッション協会 専務理事

【後援】

日本商工会議所、東京商工会議所、NHK

(2) 第22回シネマ夢倶楽部表彰

(「ベストシネマ賞」「シネマ夢倶楽部賞」「推薦委員特別賞」)

「ベストシネマ賞」は、毎年1月～12月の国内で公開された新作映画の中から、シネマ夢倶楽部の推薦映画(2024年は208作品)となった作品を対象に、邦画・洋画の区別なく、良質、優秀な作品を選定、表彰するもの。

また、「シネマ夢倶楽部賞」は、映画を通して、文化や生活、社会の発展などに貢献した個人・団体、プロジェクト等を、「推薦委員特別賞」は、新しい時代の映画や才能、意欲的な活躍をした監督・俳優を選定、表彰するもの。

【選考経過】

① シネマ夢倶楽部推薦委員座談会

9月19日(木)、日本ファッション協会会議室において、13名出席(推薦委員10名、アドバイザー3名)のもと、上半期(2024年1月～7月)上映作品のレビューを行った。(シネマ推薦委員は6ページ参照)

② 2024年シネマ夢倶楽部推薦委員会

12月17日(火)、公益社団法人日本外国特派員協会・ミーティングルームで15名出席

(推薦委員 12 名、アドバイザー 3 名)のもと選考を行い、例年選定している「ベストシネマ賞」「シネマ夢倶楽部賞」「推薦委員特別賞」を以下のとおり選定した。

【ベストシネマ賞】

2024 年の推薦映画 208 作品の中から選ばれたベストシネマ 11 作品より上位 3 作品を選定。

第1位 『ソウルの中』 (配給:クロックワークス)

第2位 『BISHU〜世界でいちばん優しい服〜』
(配給:イオンエンターテイメント)



第3位 『ホールドオーバーズ 置いてけぼりのホリディ』
(配給:ビターズエンド、ユニバーサル映画)

このほかに、『オッペンハイマー』『あんのこ』『夜明けのすべて』『シビル・ウォー アメリカ最後の日』『関心領域』『型破りな教室』『国境ナイトクルージング』『衰れなるものたち』(順不同)の 8 作品を年間ベストシネマに選んだ。

【シネマ夢倶楽部賞】

株式会社アウラ 経験豊富な翻訳者たちと太いネットワークを持ち、あらゆる言語で作品の魅力を余さず伝える質の高い字幕制作を手掛ける。

【推薦委員特別賞】

<監督> 安田 淳一 (『侍タイムスリッパ』監督)

<俳優> 山口 馬木也 (『侍タイムスリッパ』出演)

<俳優> 高橋 ユキノ (『つゆのあとさき』出演)



※メディア掲載件数

織研新聞 Web 版、福井テレビ、北日本新聞、ORICON NEWS、シネマトゥデイ、中日新聞、東京新聞、渋谷クロス FM など Web、放送、紙誌面 18 件

3. 地域振興事業

当協会では地域振興事業として、欧米から始まり現在では中国、韓国などアジアの国々にまで広まった 21 世紀型の都市再生理論「創造都市＝Creative City」に、「地域独自の豊かな生活文化」こそが「創造都市」を生み出すとの考え方を加えた、「生活文化創造都市」構想の普及に取り組んでいる。

このほか、創造都市の取り組みを推進する全国 172 の地方自治体および団体が加盟している「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」メンバーに対して、「生活文化創造都市フォーラム」(地域会議)の開催案内、日本クリエイション大賞の募集要項、表彰式パンフレットなどを配布し、当協会の活動をアピールした。

また、地域相互の経験と知見の交流の場として開設した地域情報発信 Web サイト「まち自慢.net(ドットネット)」では、地方自治体、商工会議所、観光協会などの各種情報を発信している。

(1) 生活文化創造都市推進事業(生活文化創造都市フォーラム「八戸地域会議」)

今年度は市が書店を運営するなど「本」を切り口として街づくりを進めている八戸市で、「生活文化創造都市フォーラム『八戸地域会議』」を以下のとおり開催した。(次ページに新聞記事を掲載)

日 時: 2025 年1月 23 日(木)

会 場: 八戸ポータルミュージアムはっち

主 催: 日本ファッション協会

共 催: 八戸市、八戸商工会議所

後 援: 日本商工会議所

参加者: 約 100 名

内 容: 来賓挨拶

八戸市副市長 佐々木 郁夫 氏

第1部 基調講演

演題:「世界の創造都市と八戸市の可能性」

講師:佐々木 雅幸 氏

(創造都市ネットワーク日本 顧問、大阪市立大学名誉教授)

第2部 パネルディスカッション

テーマ「『本のまち八戸』の推進」

コーディネーター: 野田 邦弘 氏(横浜市立大学大学院 客員教授)

パネリスト: 明石 英嗣 氏((公財)吉備路文学館 館長)

岩崎 武史 氏(鳥取県立図書館 資料課 課長)

音喜多 信嗣 氏(八戸ブックセンター所長)

(2) 地域情報発信 Web サイト「まち自慢.net(ドットネット)」

地域情報を発信する Web サイト「まち自慢.net」では、「旅で北陸を応援『にいがた応援旅割キャンペーン』」や「『長崎県 特産品新作展』展示・販売会を東京・日本橋で開催」など 47 件のさまざまな地域情報を発信した。

URL : <https://www.japanfashion.or.jp/machijiman/>

【1月25日 デーリー東北】

本とまちづくり可能性探る

はっちでフォーラム 有識者ら意見交換



「本のまち八戸」について意見を交わしたパネルディスカッション

八戸市の「はっち」で23日、生活文化創造都市フォーラム「八戸地域会議」が開かれた。行政関係者や市民ら約100人が参加。「本のまち八戸」の推進をテーマに有識者が意見を交わし、本にまちづくりの可能性を探った。

(小嶋嘉文)

フォーラムは、日本ファッション協会(東京)が主催。21世紀型の都市モデルを指す創造都市の普及と、豊かな生活文化の創造を目的に、全国各地で開催している。

パネルディスカッションでは、文字によるまちづくり「文字創造都市おかやま」を推進する岡山市の吉備路文学館の明石英嗣館長、書店と連携を深める鳥取県立図書館資料課の岩崎武史課長、全国でも珍しい公営書店でもある八戸ブックセンターの音喜多信嗣所長が、それぞれの取り組みを紹介した。

今後の展望について、明石館長は「文学、本と関わり、敷居が高いと感じてしまうが、音楽や映画もいわば文学。多くの人に気軽に触れてほしい」、岩崎課長は「図書館と書店は競合関係ではない。互いに協力して、読書人口をさらに増やしていく」と強調した。

音喜多所長は「中高生や大学生にもっと来てもらうため、交流が持てるような新たな取り組みを進めていきたい」と話した。

創造都市ネットワーク日本の顧問で、大阪市立大の佐々木雅幸名誉教授は「本のまち八戸」の発展に向けて、子どもから大人まで幅広い市民が本に親しむとともに創造的なまちづくりを進めてほしい」と提言した。

【1月31日 東奥日報】

本でまちづくり可能性探る



「『本のまち八戸』の推進」をテーマに意見を交わしたパネルディスカッション

日本ファッション協会(東京)と八戸市、八戸商工会議所は23日、同市の八戸ポータルミュージアムはっちで生活文化創造都市フォーラム「八戸地域会議」を開いた。本や文学でのまちづくりをテーマに掲げる3市の関係者が、今後の展望や可能性について意見を交わした。

同協会は地域再生に向けて「生活文化創造都市」の普及を掲げ、全国各地でフォーラムを開催している。八戸地域会議では市民ら約70人が聴講。野田邦弘横浜国立大学大学院客員教授がコーディネーターを務め、「本のまち八戸」の推進に関して、吉備路文学館(岡山市)の明石英嗣館長、鳥取県立図書館の岩崎武史資料課長、八戸ブックセンターの音喜多信嗣所長が思いを語った。

ハ 戸 3市の関係者が意見交換

今後の取り組みに関し、明石館長は「本もそうだが、文学というところ敷居が高くなる。高尚そうに見えるけれども、音楽や映画、演劇、アニメとか全部文学だということ」を伝え続けていかなければいけない」と強調。岩崎課長は「県立図書館と全市町村立図書館でスタンブラリーを行っている。書店もミックスして回遊できる機会をつくっていきたい」とし、音喜多所長は「若い中高大学生にもっと来てほしい思いがあり、交流を持取り組みを進めたい」と話した。

本のまち八戸のさらなる発展に向け、創造都市ネットワーク日本の顧問・佐々木雅幸氏は「子どもから大人まで幅広い市民が本に親しみ、創造的なまちづくりの推進を市全体で考える。次世代の文学の担い手養成、児童文学を発展させて子育て環境を豊かにする活動も必要だ」などとアドバイスした。

(下館悠々)

4. その他事業

(1) 動画・Web 等請負事業

style-arena.jp 事業の実施により培ったノウハウを活かし、賛助会員企業・団体等からのニーズに対応する動画制作、Web 制作等の請負事業を実施している。オンライン会議やウェビナーも引き続き支援している。

① Web 制作・SNS 運用

東京都「子供の遊び推進プロジェクト」、東京ニットファッション工業組合「TOKYO KNIT」日本アパレル・ファッション産業協会「J∞QUALITY ファクトリープロジェクト」など、様々な業界のWebプロモーションを制作。

② 動画制作

三陽商会、福島市飯野町、セブンツーセブン、東京都「子供の遊び推進プロジェクト」、ポラスグループなどの動画を制作。

③ Web 定期運用

日本アパレル・ファッション産業協会、日本テレワーク協会、TOKYO KNIT、厚生労働省の事業コンテンツサイトなどの Web サイトを定期運用

④ ハイブリッドセミナー・イベントの支援

日本商工連盟、アデコ株式会社などのウェビナーを支援。

(2) 各種イベント・行事等への後援

企業・団体等が実施するイベント・行事等への後援を通じ側面から支援を行った。(21 件)

イベント	主 催	会 期
第 25 回中国江蘇省輸出商品展示会	江蘇省商務庁	2024 年 5 月 21 日～23 日
第 23 回ドリーム夜さ来い祭り	(一財)ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団	2024 年 11 月 2 日～3 日
Rakuten Fashion Week TOKYO 2025 S/S	(一社)日本ファッション・ウィーク推進機構	2024 年 9 月 2 日～7 日
倉敷ファッションフロンティア 2024「織博」	倉敷ファッションフロンティア実行委員会	2024 年 9 月～2025 年 1 月
第 2 回 The Makers・Apparel Show	(一社)日中経済貿易センター	2024 年 9 月 4 日～5 日
第 5 回中国遼寧省輸出商品展示会	(一社)日中経済貿易センター	2024 年 8 月 27 日～29 日
121th FASHION & BEAUTY LIVE	岩崎学園	2024 年 10 月 9 日
Premium Textile Japan 2025A/W	(一社)日本ファッション・ウィーク推進機構	2024 年 11 月 6 日～7 日
JFW ジャパン・クリエーション 2025 展	(一社)日本ファッション・ウィーク推進機構	2024 年 11 月 6 日～7 日
第 43 回 JAPANTECH2024	(一社)日本インテリア協会、 (一社)日本能率協会	2024 年 11 月 20 日～22 日
第 99 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2025	(株)ビジネスガイド社	2025 年 2 月 12 日～14 日

第 17 回文化ファッション大学院大学ファッションウィーク	文化ファッション大学院大学 (BFGU)	2025 年1月 27 日～31 日
Rakuten Fashion Week TOKYO 2025 A/W	(一社) 日本ファッション・ウィーク 推進機構	2025 年3月 17 日～22 日
第 24 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会	ファッション甲子園実行委員会	2025 年3月3日～8月 31 日
第 3 回 The Makers・Apparel Show	(一社) 日中経済貿易センター	2025 年3月5日～6日
2025 大阪国際ライフスタイルショー／浙江省輸出商品(大阪) 交易会	浙江省商務庁、(一財)大阪国際 経済振興センター	2025 年9月 10 日～12 日
渋谷ファッションウィーク 2025 春	渋谷ファッションウィーク実行委員会	2025 年9月 10 日～12 日
MUSIC&FASHION GALAXY 「STARRZ TOKYO」	STARRZ TOKYO 実行委員会	2025 年9月 23 日
Tokyo Textile Scope 2026 S/S	(一社) 日本ファッション・ウィーク 推進機構	2025 年5月 14 日～16 日
第 26 回中国江蘇省輸出商品展示会	江蘇省商務庁	2025 年5月 20 日～22 日
第 100 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2025	(株)ビジネスガイド社	2025 年9月3日～5日

(3) 委員派遣

- ① 日本プラスチック日用品工業組合「プラスチック日用品優秀製品コンクール」審査委員
- ② 日本フラワーデザイナー協会「花ファッショントレンド検討会議」委員

Ⅲ. 会議開催状況

1. 理事会

回数	日時	内 容
第 34 回	2024 年6月6日(木) (日本商工会議所会議室 AB)	議 件 (1)2023 年度 事業報告書(案)の承認について (2)2023 年度 収支決算(案)の承認について (3)2023 年度 公益目的支出計画実施報告(案)の承認について (4)専務理事ならびに業務執行理事の選定(案)について (5)参与の委嘱(案)について (6)第 26 回 評議員会の開催(案)について 報 告 (1)Urara:kai(うらら会)活動報告 (2)資産の運用状況について (3)業務執行状況について
第 35 回	2024 年 7 月 17 日(水) (書面開催)	議 件 (1)副理事長の選定(案)について
第 36 回	2025 年3月5日(火) (東京會舘「アゼリア」)	議 件 (1)2025 年度 事業計画(案)の承認について (2)2025 年度 収支予算(案)の承認について (3)顧問の委嘱(案)について (4)第 27 回 評議員会の開催(案)について 報 告 (1)資産の運用状況について (2)業務執行状況について (3)「日本クリエイション大賞」受賞案件の概要について

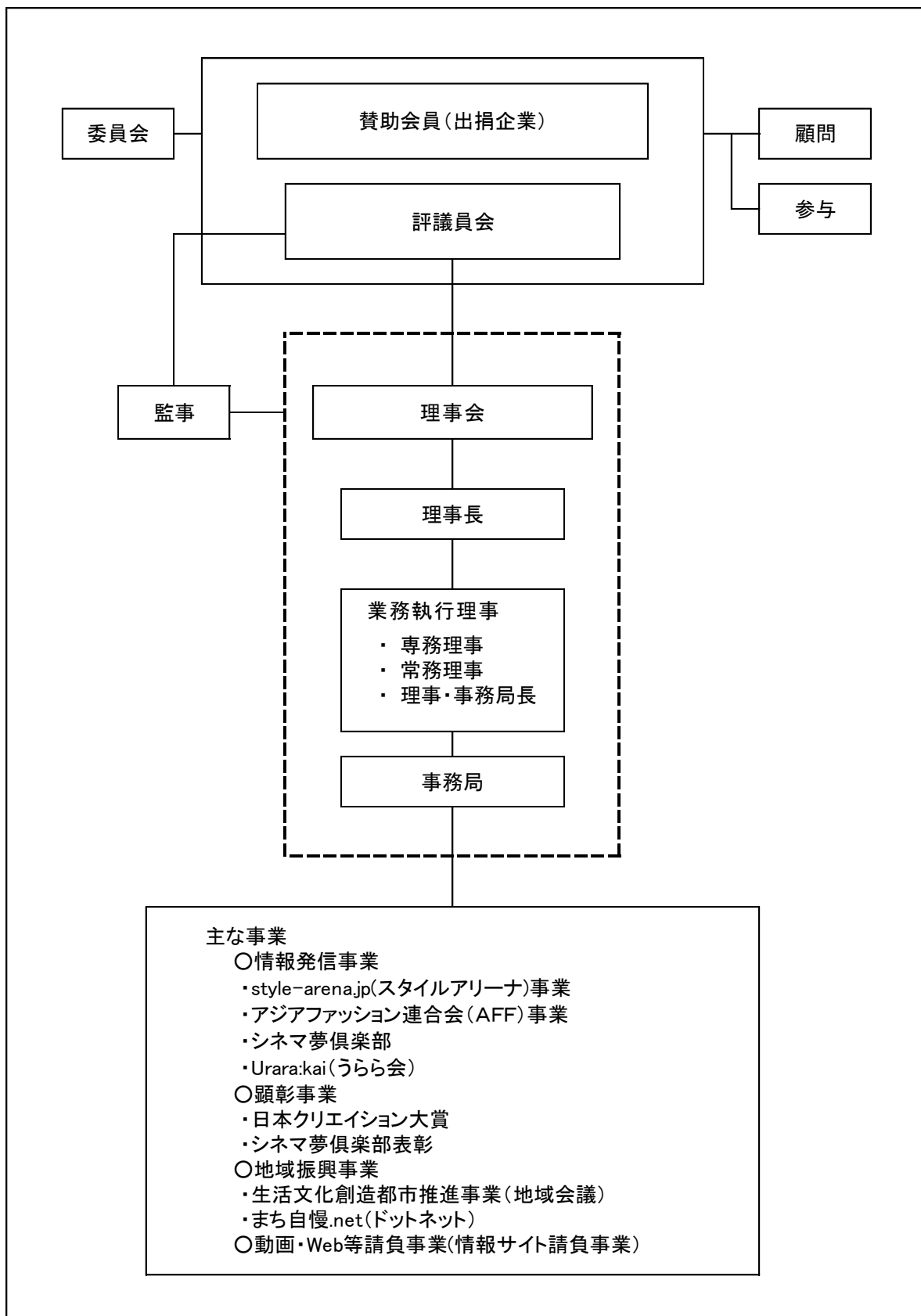
2. 評議員会

回数	日 時	内 容
第 26 回	2024 年 6 月 28 日(金) (書面開催)	決議事項 (1)2024 年度 決算報告(案)の承認について (2)評議員の選任(案)について (3)理事の選任(案)について (4)監事の選任(案)について 報告事項 (1)2023 年度 事業報告について (2)2023 年度 公益目的支出計画実施報告について
第 27 回	2025 年 3 月 28 日(金) (書面開催)	決議事項 (1)定款の変更(案)について

		一般財団法人移行時(2012 年)と現状との基本財産規模に鑑み定款に定める理事の人数を「20 名以上 30 名以内」から「15 名以上 25 名以内」に、評議員の人数を「25 名以上 40 名以内」から「20 名以上 35 名以内」にそれぞれ変更した。 (2) 理事の選任(案)について 報告事項 (1) 2025 年度 事業計画について (2) 2025 年度 収支予算について
--	--	---

IV. 組織

1. 組織図



2. 役員(理事・監事)・評議員・名誉理事長・顧問・参与・相談役

(2025 年3月 31 日現在)

(敬称略・順不同)

【理 事】

理 事 長	日 覺 昭 廣	東レ株式会社 代表取締役会長
副理事長	滝 一 夫	タキヒヨー株式会社 代表取締役社長執行役員
副理事長	伊 藤 仁	日本・東京商工会議所 専務理事
専務理事	山 下 健	東京商工会議所
理事・事務局長	會 本 尚	日本商工会議所
理 事	相 原 幸子	学校法人 文化学園 理事(文化服装学院学院長)
理 事	名 取 和幸	一般財団法人 日本色彩研究所 常務理事
理 事	味 岡 平一郎	株式会社 AJIOKA 取締役会長
理 事	岩 田 彰一郎	株式会社 フォース・マーケティング アンド マネージメント 代表取締役 CEO
理 事	橋 本 薫	旭化成株式会社 ライフイノベーション事業本部 ベンベルグ事業部 部長
理 事	清 水 佳代子	株式会社 シミズオクト 取締役副社長
理 事	高 橋 淳	TOPPAN ホールディングス株式会社 秘書室 室長
理 事	鳥 越 千裕	株式会社 資生堂 秘書・渉外部長
理 事	堀 谷 大介	本田技研工業株式会社 取締役会室 室長
理 事	加 藤 郁郎	株式会社 三陽商会 取締役兼副社長執行役員
理 事	西 森 浩文	株式会社 オンワードホールディングス 執行役員
理 事	長 谷 川 裕治	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 専務理事
理 事	畑 崎 充義	株式会社 ワールド 取締役
理 事	松 田 雍晴	YM オフィス 代表
理 事	山 口 玲子	株式会社 ヴィヴィッド・レイ 代表取締役社長

以上、理事 20 名(定数 15 名以上 25 名以内)、任期 2025 年6月評議員会まで

【監 事】

監 事	幸 本 智彦	アクサ生命保険株式会社 代表取締役副社長
監 事	萩 平 勉	一般財団法人 ファッション産業人材育成機構 前理事長

以上監事2名(定数3名以内)、任期 2028 年6月評議員会まで

【評議員】

評議員	百瀬 二郎	株式会社 コーポレーション 代表取締役社長
評議員	横山 和久	株式会社 高島屋 代表取締役専務
評議員	石井 洋典	繊維産業流通構造改革推進協議会 専務理事
評議員	岩崎 有紀子	学校法人 岩崎学園理事 横浜fカレッジ 学校長
評議員	山口 健太郎	株式会社 東京會館 取締役
評議員	久保田 俊樹	株式会社 そごう・西武 執行役員副社長
評議員	加藤 俊樹	株式会社 大丸松坂屋百貨店 取締役兼常務執行役員
評議員	井上 弥生	花王株式会社 化粧品事業部門 BCR センター センター長
評議員	安東 良高	株式会社 電通 執行役員
評議員	渡邊 正一	コーティングデザイナー
評議員	齋藤 朝子	株式会社 ピアチェーレ 代表取締役会長
評議員	岩田 圭剛	札幌商工会議所 会頭
評議員	太刀川 英輔	公益社団法人 日本インダストリアルデザイン協会 理事長
評議員	檜崎 博	八王子商工会議所 会頭
評議員	村上 智	ライオン株式会社 経営サポート部 部長
評議員	中西 一	ブルーミング中西株式会社 取締役社長
評議員	松本 恭子	福岡商工会議所 専務理事
評議員	五十川 規洋	三井住友海上火災保険株式会社 広域法人部長
評議員	鈴木 康文	豊田通商株式会社 繊維事業本部 繊維企画グループグループリーダー
評議員	早川 謹之助	株式会社 エトワール海渡 代表取締役社長
評議員	横関 直樹	株式会社 松屋 取締役常務執行役員
評議員	犬竹 伸晃	株式会社 フジテレビジョン 常務取締役
評議員	三宅 正彦	株式会社 TSIホールディングス 名誉顧問
評議員	岡田 美由紀	帝人フロンティア株式会社 衣料営業企画部長
評議員	山田 晋右	大塚製靴株式会社 相談役
評議員	吉原 一雄	ゲートウェイ日本語学校 校長
評議員	鰐渕 美恵子	株式会社 銀座テーラーグループ 代表取締役会長

以上評議員 27 名(定数 20 名以上 35 名以内)、任期 2027 年6月評議員会まで

【名誉理事長】

馬場 彰

一般財団法人日本ファッション協会 前理事長

以上名誉理事長1名

【顧問】

顧問 鳥井 信吾

大阪商工会議所 会頭

顧問 嶋尾 正

名古屋商工会議所 会頭

顧問 上野 孝

横浜商工会議所 会頭

顧問 堀場 厚

京都商工会議所 会頭

顧問 川崎 博也

神戸商工会議所 会頭

以上顧問5名

【参 与】

参 与 畠山 一成

日本商工会議所 常務理事

参 与 廣田 恭一

札幌商工会議所 専務理事

参 与 今野 薫

仙台商工会議所 専務理事

参 与 綱島 知子

新潟商工会議所 専務理事

参 与 小林 治彦

東京商工会議所 常務理事

参 与 森 健二

横浜商工会議所 専務理事

参 与 内田 吉彦

名古屋商工会議所 専務理事

参 与 兒島 宏尚

京都商工会議所 専務理事

参 与 井内 摂男

大阪商工会議所 専務理事

参 与 楠山 泰司

神戸商工会議所 専務理事

参 与 植野 実智成

広島商工会議所 専務理事

参 与 新池 伸司

高松商工会議所 専務理事

参 与 松本 恭子

福岡商工会議所 専務理事

参 与 鳥越 孝治

一般社団法人 日本流行色協会 前専務理事

以上参与 14 名

【相談役】

相談役 岡田 卓也

イオン株式会社 名誉会長相談役

以上相談役1名

以上